

地域医療

あがの市かわら版

第12号

今回のテーマは

「退院支援のあり方を考える」

阿賀野市多職種研修会

市の医療と介護に関わる関係者が集まり、顔の見える関係づくりから、地域包括ケアシステム構築を目指すために始められた多職種研修会は、平成26年度から始まり、今年度は4回を終了いたしました。

講師には、敬和学園大学人文学部専任講師 川本健太郎氏を迎え、最初に、当事者主体で考え、新しいサービスを作りだすくらいの発想でグループワークを展開してほしいと提示がありました。

4回目の会議では、市内の開業医の医師をはじめ、歯科医師、薬剤師、ケアマネ、民生委員、施設・在宅のサビラス提供者、あがの市民病院職員、行政関係課職員約100人の参加がありました。

講師には、敬和学園大学人文学部専任講師 川本健太郎氏を迎え、最初に、当事者主体で考え、新しいサービスを作りだすくらい発想でグループワークを展開してほしいと提示がありました。

今回のテーマは、「阿賀野型地域包括ケアシステムと多職種連携」事例をとおして退院支援のあり方を考える」と題し、退院支援に焦点をあて、飲酒習慣と糖尿病合併症のある62歳の父と、引きこもりの33歳の息子との2人暮らしの事例を取り上げました。



2015/02/13 14:10



スキーをするごすっちょ!Facebookで検索!

発行：阿賀野市 民生部 地域医療推進課
平成28年2月26日
TEL 0250-61-2503 (直通)
FAX 0250-62-0281
E-mail: chiikiiryu@city.agano.niigata.jp

市民講座

糖尿病シリーズ

第1回目行われる

2月16日(火)の午後から、あがの市民病院において、あがの市民病院非常勤医師 藤原和哉先生による、市民講座が行われました。

「糖尿病について知ろう」と題し、検査基準や合併症、治療方法、治療の目標等について、わかりやすく解説され、約70人の参加者が、熱心に受講されました。

質問では、「テレビでは野菜を先に食べた方が身体にいいと言っていたが、地域の主治医の先生はあまり気にしなくていいと言う。どうすればよいのか?」など、多くの質問がありました。受講後のアンケートでは



藤原先生は、平成27年10月から、あがの市民病院に非常勤として勤務され、糖尿病の診療にあたられています。
この糖尿病シリーズは、当病院内の糖尿病・生活習慣病予防治療センターの3人の先生により、それぞれ1回ずつ市民講座が行われるもので、次回3月3日(木)は松永佐澄志先生に、最終回3月11日(金)は山本正彦先生に講話をしていただきます。



阿賀野市総合計画策定(案)

地域医療体制の充実を

地域医療検討専門委員と共有

平成25年度から、市長はじめ、学識経験者と、地域の医師会の先生方、行政担当課職員が集まり、地域医療の充実について、話し合いを行っております。

委員からは、地元医師会の先生方との連携や、行政の取り組みなどについて、アドバイスを、新しい情報を聞かせていただいています。

2月5日(金)の今年度2回目の会合では、本年度策定している阿賀野市総合計画(案)について御意見をいただきました。
「地域医療体制の充実」は7つある政策の中でも、最優先課題となっております。
また、阿賀野市では議員発議



で、昨年の9月議会において、「阿賀野市の市立病院と地域医療を守り育てる条例」が制定されました。
今後も、地域全体で地域医療を守り支える取り組みを一層進め、患者さんにも医師の方々にも魅力ある病院を目指してまいります。